

愛犬の十戒

1 私は10年から15年しか生きられません。だから少しでも短い時間でもあなたと一緒にいたいのです。

私を飼おうと決める前にどうかそのことを覚えておいて下さい。

2 あなたが私に求めていることを理解するのに私も時間を要します。

3 私をあなたが信頼してくれれば私も幸せです。

4 あなたは私を長く叱ったり、閉じ込めたりしないでください。あなたには仕事があり、友達がありますが、私にはあなたしかいないのです。

5 時々、あなたは私に話しかけて下さい。

あなたの言葉がわからなくても、あなたの声や話す態度で理解できます。

6 あなたが私をどんな風にあつかっているか、時々思い出して下さい。

そのことを私は忘れません。

7 あなたが私を叩く前に、私はあなたの手を十分に咬むことのできる歯を持っていますが私はそれを致しません。

8 私のことを、言うことを聞かない怠け者と思う前に、

なぜ私がそうなったか？ あなた自身も理由を考えてみて下さい。

9 そして私が年をとっても是非、世話をして下さい。

あなたも同じ様に年をとってゆくのですから。

10 **私の最後の時は、是非私と一緒にいて下さい。**

見るのが辛いとか、知らない場所で・・・などと思わないで下さい。

あなたがそばに一緒にいてくれたら私は辛いことも安らかに受けられます。

そして、**どうか私があなたを愛していることを忘れないで下さい。**

あなたは本当に飼えますか？

以下に10項目の質問があります。1つでもあてはまらない項目がある場合は、譲渡をお断りする場合があります。

1. 毎日運動に連れて行く時間、体力があるか。
2. ペットを飼える住宅に住んでいるか。賃貸住宅でも「ペット飼育可」の規約があるか。
3. 家族全員動物が好きか。
4. 動物に対するアレルギーがないか。
5. 引っ越し、転勤の予定もしくは可能性はないか。
6. 1日数回の給餌、トイレの後始末を10年以上かかさず続けられるか。
7. 毎日のエサ代、病気の予防やもしものときの治療代などにお金をかけられるか。
8. ご近所等への配慮も考え、みんなから愛されるようきちんとしたしつけが出来るか。
9. 高齢動物（寝たきり、認知機能障害など）の介護をする心構えがあるか。
10. 不測の事態（飼い主の入院・死亡等）に陥ったときの受け皿があるか。

ちょっと厳しいかもしれませんが、以下の理由で飼育を放棄する飼い主が後を絶ちません。みんな最初から放棄するつもりで飼い始めたのではないのでしょうか・・・。

1. 仕事などで忙しく、散歩に行く時間も体力もないから引き取って欲しい。
2. ペット禁止住宅で秘密に飼っていたが、バレて苦情がでたので引き取って欲しい。
3. 家族と相談せずに衝動飼いしたが、反対されたので引き取って欲しい。
4. 飼い始めたら、家族にアレルギーなどの病気が出たので引き取って欲しい。
5. 転居先の住宅では動物を飼えないので引き取って欲しい。
6. 自分が高齢で、世話が辛くなってきたから引き取って欲しい。
7. 動物が病気になってしまったが、高額な治療費が払えないので引き取って欲しい。
8. 鳴き声がうるさいなどと近所から苦情が出たので引き取って欲しい。
9. 動物が老齢や病気のため寝たきりになり、世話が大変だから引き取って欲しい。
10. 飼い主の病気や死亡により、誰も後を見る人がいないので引き取って欲しい。

「途中で飼うのをやめる」ということは、あなた自身が殺すことと同じです。

飼う前に考えましょう。

————— 自分は本当に飼えるのか？ —————

場合によっては、飼わないでおくのも立派な“愛情”です。